

住職便り



第一号（平成二十一年十一月）
専徳寺14代住職 弘中満雄

拝啓

慈光のもと、ご門徒様にはその後お変わりなくお念仏讃嘆の日暮らしと拝察申しあげます。

住職になつてはや一年。まだまだ慣れないことが多く、悪戦苦闘の毎日です。

さて、今回より「副住職だより」改め「住職だより」を送らせていただきます。共々、仏さまの法味ほうみを喜び合えたらと思ひます。

合掌

《贅沢な味》

【イカ明太子】

ある日、隣町のお参りに行く車中、たまにたまラジオを聴いていました。

「つづきまして、お取り寄せコーナーです。今日は博多の《イカ明太子》の紹介です。こんにちは！」

元気な女性司会者に応えて、お店の人が熱心に宣伝を始めました。

「このイカ明太子は、新鮮で歯切れのいい肉厚のイカに良質な明太子をたっぷりからませました。味のバランス、歯ごたえ、抜群の組み合わせです。ごはんのおかず、お酒の肴に、最高の逸品です！」

（司会者の女性が一口食ます

「美味しい！本当にとても歯ごたえがよいですね。いかの甘みと明太子の調和が絶妙！明太子がとつてもやわらか！」

「美味しそうだな。食たいな」と思う私。そして最後に司会者が、

「「ちそうさまでした。とても美味しから

たです。しかしこのイカ明太子は、広島にいなながら博多の味が味わえるのですね。贅沢な味でした。ご紹介どうもありがとうございました。以上、お取り寄せコーナーでした。さて次は………」

【娑婆にいなながら】

イカめんたいこ。



その一瓶には博多の味がびっしりつまってあります。広島では味わえない味が、その中にあります。

私たちが称えるお念仏。そこにはお浄土をつくられた仏さまの智慧と慈悲の功德が同じく丸ごとびっしりつまっています。

イカめんたいこ……広島にいなながら博多の味が味わえる……。

南無阿弥陀仏……娑婆にいなながら浄土の味が味わえる……。

明太子のつぶつぶのようなたくさんのお慈悲。それが分厚い智慧にたっぷりからまつています。

ただし、お念仏は「お取り寄せ」ではありません。すなわち私がお念仏を聞き知つて、注文して、届けてもらうのではないのです。煩惱まみれの私を憂いた仏さまは五劫ごこうの間悩まれ、声の仏となることを決心されました。そして苦勞の末、その通り「声の仏」となつて届いてくださっています。

娑婆にいなながら味わえる、お浄土の味。今日も勿体なく頂戴、念仏いたします。

（専徳寺HPより）